

○ 6月11日(火)

## 府立学校訪問(須知高校)



### ○ 畑 委員長

まず、校門を入れて校舎へと続く豊かな緑に感激しました。校内を抜ける風は格別です。

この学校を訪問した目的は、ホッケー部の練習見学と食品科学科の視察です。ホッケー部は、平成27年の全国高校総体近畿大会の会場が京丹波町に予定されていることもあり、練習にとても力が入っていました。大きな声と日に焼けた笑顔が印象的でした。食品科学科は平成6年に設置されました。設備環境も整っていました。先生方の指導のもと衛生管理もきっちり保守されていて訪問も快適でした。今年度の開発特産加工品として、地酒の酒粕を使った「長老サラミ」、モロミと桜のアイスクリーム二種、ともになかなか挑戦的な取り組みでした。試食をさせていただいたのですが、それぞれとてもユニークでした。桜アイスクリームは本当に桜の香りが高く美味しいのです。これらの試みが将来の地域の特産品として定着してくれると大変楽しいと思います。お土産に須知高校製のヨーグルトをいただきました。甘みを抑えてとても品がよく、朝食にいただきました。都市部では求めることのできない恵まれた環境で、のびのびと学んでほしいと願っています。



### ○ 冷泉 委員

まず、樹木の美しい学校の敷地に驚きました。すばらしい環境です。

ホッケーの練習を見ました。あまりのボールの早さにびっくり。このような特色あるクラブを持つというのも良いものですね。

食品科学科は大半の生徒の帰宅後でしたが、設備の立派さが印象的です。この学科の卒業生が活躍できる地元の企業があればと思います。

食品科学科の生徒が作ったアイスクリーム、ごちそうさまでした。とてもおいしかったです。

○ 6月11日(火)

## 府立学校訪問(須知高校)



### ○ 安藤 委員

農業教育の発祥の地である須知高校で、部活動と専門学科の取組を拝見いたしました。

須知高校ホッケー部の練習場では次の大会に向けて練習に励む部員の活動風景を見学させていただきました。機敏な動きでボールを追いかける生き活きとした表情は本当に見ていて気持ちの良いもので、ゴール前のシューティングなど、スティックのはじく音とそのスピードに思わず歓声を上げるほど迫力あるプレーを見せていただきました。

ホッケー競技を間近で見るのは初めてで、ルールがわからなくとも、スティックやボールに触れてみたり、見るポイントを教えてもらったり選手たちと触れ合える機会があると、より身近に感じることができるのだと思いました。「セーフ・クリーン・フェア」のごとく、部員の礼儀正しさも好感が持てました。ホッケーを通して、地域の小中学生にもその楽しさや魅力を伝え、2年後の京丹波で開催される総体近畿大会でも活躍して欲しいと願っています。

また、食品科学科の製造実習室「味来館」を見学し、食品加工のプレゼンテーションや設備を見学させていただきました。地元の特産物の素材本来の成分や風味を活かしながら、美味しいアイスクリームに変換するという発想や加工の工夫がとても斬新で新鮮に思えました。

また地元の企業や事業と連携した「収穫感謝祭」では、専門学科の生徒の学習成果(加工した食品の販売や学校生活の紹介)や取組を見てもらったり、須知高校を広く知ってもらえる良い機会になっていました。自分たちの作った食品の販売や地域の人と触れ合うことで、社会性も身に付き、これからの学習活動に活かしていけるのではないかと感じました。

今後は、高校生の豊かな発想力と行動力で新しいことにも自主的にチャレンジしてほしいと思いますし、地元に着した取組が地域の活性化だけでなく校種間連携の食育の充実や、生徒の職業選択にうまくつながるような取組になるよう期待しています。

農学校時代からの桜花の校章が物語るように、試食した「桜アイス」はどこか懐かしい桜花の香りがしました。これからも須知高校の歴史と伝統を大切に、次代につなげていって欲しいと思っています。